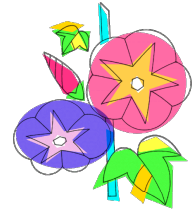


学校だより

よく考え 励まし合って やりぬく子
よく考える子 励まし合う子 やりぬく子



TEL : 69-2029 FAX : 69-4448 HP-URL : <http://www.tanpopo.ne.jp/~ohyabu/index.htm>

地域に支えられている大藪小学校

5月末、校区の善明寺様より、「5年生の子たちが除草を手伝ってくれた。」という報告と、お礼状をいただきました。一部を紹介させていただきます。

日ごろから、子どもの皆さんに、思いやりのある明るい教育を目指され、その成果の様子が、いつもの登下校の様子からうかがえます。地域住民の一人として感謝申し上げます。

さて、お礼申し上げることは、女子児童 5-1の りのあ様 あいか様 みさき様、5-2の りお様 ゆうな様 以上の仲良しグループの方々に、自発的に草引きを手伝っていただきました。困っている様子に映っていたのでしょう。翌日の駐車場整備のために、もう花まで咲いたいろんな種類の草を、時間に迫られる中、必死で手作業による除草をしていましたところを、あつという間に仕上げてくださいました。時間が欲しいばかりのところでしたので、本当に助かりました。リヤカーいっぱいになりました。
～ 後略 ～

地域に貢献する活動をすすんで行った矢野璃乃愛さん、牧本愛華さん、矢野未咲さん、服部湊央さん、田中佑奈さんは素晴らしいです。また、このような子どもたちの良い姿を見届け、報告していただける地域の方がいてくださることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

他にも、自主的に学校の草刈りをしてくださったり、シバザクラの管理をしてくださったりする地域の方がおられます。夕方と夜、1日に2回も学校の周りや体育館の見回りをしてくださる方もおられます。

おかげさまで、6月22日には5回目の「欠席ゼロ」を達成しました。前にも申し上げましたが、欠席ゼロは、地域の方々による見守り・支援、学校の安心・安全があってこそ達成できることです。このような貴重なことが、5回も達成できていることは、大藪小学校をとりまく環境の素晴らしさを表しています。誠にありがとうございます。

子どもたちから「たいせつに」の声が聞こえてきました。

始業式に子どもたちに伝えた「たいせつに」という言葉を、今月は子どもたちから聞くことができました。

朝マラソンの後、2年生の國島しずくさんが「校長先生、私ね、野菜を大切にしないとるんやよ。」と話しかけてきました。私が、「すごいね、だから野菜がこんなに元気に育っているんだね。」と答えると、さらに「家で留守番しとるときも、家を大切にしようと感じて、部屋を掃除したの。お母さんが『うれしいっ!!』って喜んでた。」と言いました。お母さんも「感動を伝える誉め方」をしてくださっているようで、私もうれしくなりました。すると、近くで聞いていた男の子たちも「僕が大切にしているトマト、こんなに実がなったよ。」と教えてくれました。また、なかよしタイム



には、3年生の小寺さくらさんと棚橋洵友さんが「元気に育ってね。」と野菜に声をかけながら水やりをしていました。野菜を大切に育てている証拠です。

児童玄関で子どもたちに挨拶をしているときに、廊下を走っていく子がいました。私が、「廊下を走ってはいけませんよ。」と言うと、近くにいた1年生の蕪木悠人さんは「廊下を大切にしてくださいーい。走るところぶよー。」と呼びかけました。1年生らしい素直な発想です。

大藪小学校の子どもたちは、とっても素直です。だからこそ「たいせつに」が心の中に浸透しているのです。

文責 校長 小椋英吏